



6 月定例記者会見・次第

日 時 平成 30 年 6 月 1 日 (金) 11 時 00 分～
場 所 塩竈市役所 2 階会議室

— 説明項目 —

市民総務部

1. 平成 30 年度 塩竈市総合防災訓練を実施します [市民安全課 (355-6491)] 1P

健康福祉部

2. ～今年で 11 年目～中学生と赤ちゃんふれあい交流事業 [健康推進課 (364-4786)] 2P

産業環境部

3. おいしく“変身”親子でタラクッキング in 塩竈市魚市場 [水産振興課 (781-7706)] 3P

4. 小舟で巡る・貞山運河「御舟入堀」復興状況視察会 [商工港湾課 (364-1124)] 4P

5. 素敵なマグロ達がお出迎え！マリンゲート塩釜の工事現場壁面にカラフルなマグロ塗り絵がラッピング
されました [商工港湾課 (364-1124)] 5P

教育部

6. 玉川中学校区において授業研究会を開催します [学校教育課 (365-3216)] 6P

7. 勝面楼が日本遺産の構成文化財に追加されました [生涯学習課 (362-2556)] 7P

8. 今年度も「わくわく遊び隊」が始動します [生涯学習課 (362-2556)] 8P

水道部

9. 塩竈市水道週間啓発コンクール応募作品展示会 [水道部業務課 (364-1415)] 9P

— 資料提供項目 —

1. 6月の日程 [市民総務部政策課 (355-5764)]

2. マリンゲート塩釜「^{あじさいいちば}味彩市場」 [産業環境部商工港湾課 (364-1124)]

3. OH～エン！すまいる情報発信 6月号 [産業環境部観光交流課 (364-1165)]

4. 中・高校生の夏休み保育体験学習 [教育部生涯学習課 (362-2556)]

5. 二市三町歴史体験学習「縄文土器づくり」 [教育部生涯学習課 (362-2556)]

6. 第5回パナソニック 2018 復興支援 スポーツ交流会 in 塩竈 [教育部生涯学習課 (362-1023)]

7. 遊ホールイベント情報 [市民交流センター (365-5000)]

8. 「ざくろ通信」vol.13 [塩竈市杉村惇美術館 (362-2555)]

9. こどもと伝える 海とみなとまちの風景展 [塩竈市杉村惇美術館 (362-2555)]

○ 「未来を創る」塩竈市教育委員会 News (第 13 号) [教育部教育総務課 (362-7744)]

○ 本の杜・ブクちゃんつうしん・しおかぜ・話題の本棚 [塩竈市民図書館 (365-4343)]

○ 公民館だより WAY・エस्प KID'S [生涯学習センター (367-2010)]

平成30年度塩竈市総合防災訓練を実施します

1. 目的

県民防災の日(6月12日)に合わせ、市・防災関係機関及び地域住民が一体となった防災訓練を実施し、「東日本大震災」を風化させないよう、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ります。

2. 日時

平成30年6月10日(日)午前9時～午前11時30分

3. 会場

【メイン会場】塩竈市立玉川小学校(塩竈市玉川2丁目9番1号)

【その他】本庁(災害対策本部)、各指定避難所(全20ヶ所)、市内全小中学校 等

4. 発災設定

・平日夕方 午後5時00分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0と推定される海洋型地震が発生。震度6強を観測し多数の家屋が倒壊、ライフラインが被害をうけ、市内全域が停電。大津波警報が発表

5. 訓練概要

(1)訓練内容

広報、避難所開設運営、緊急招集情報伝達、町内会・自主防災組織による共助訓練、小中学校(児童生徒)避難訓練など、14項目

(2)本年度の特徴点

①夜間、市内全域の停電を想定した訓練

夜間に信号機の停止や電話の混乱による通信手段の断絶といった停電時の不便や通電火災の脅威を再認識します。また、非常持出品の事前準備及び避難時の携行、指定避難所までの避難経路や行動を再確認します。

②避難所開設運営訓練(市民参加型)

備蓄している発電機や投光器、給水活動に使用する貯水槽などの設置を実際に市民の皆さまに行っていただく訓練を行います。

③メイン会場では

メイン会場の玉川小学校ではマンホールトイレ設置訓練や炊出し訓練等も行います。また、特殊車両の展示、消防団が保有する救助資機材の展示を行います。



6. 参加予定団体

第二管区海上保安本部／宮城海上保安部／陸上自衛隊多賀城駐屯地第22普通科連隊／塩釜警察署／塩釜消防署／宮城県／各町内会／各自主防災組織／宮城ケーブルテレビ(株)／エフエムバイエリア(株)／全小中学校等／災害時応援協定締結自治体 等

7. 今年度の参加人数(予定)

8,300人 ※昨年度実績 8,174人

～今年で11年目～「中学生と赤ちゃんふれあい交流事業」 新たに浦戸中学校が加わり、市内全中学校で開催します

この事業は、市内の中学3年生が赤ちゃんとのふれあうことで、「命の尊さ」や「親の愛情」に気づき、自分の存在について考え、親との関係を見直しながら自己肯定感を高めることなどを目的に、平成20年度からスタートしました。

11年目となる今年度は、浦戸中学校も加わり、市内の全中学校を対象に開催します。

また、宮城大学に依頼し、過去10年分の生徒事後アンケートから本事業の効果検証も行います。

ふれあい交流事業は、体験交流と講演会の2部構成で行います

1. 日程

体験実習(会場：保健センター)		講演会(会場：各中学校体育館)		対象生徒数
午前) 11:05～12:30/午後) 13:45～15:25		午後) 13:30～15:30		
6月26日(火)午前/午後	第二中学校	6月27日(水)	第一中学校	124人
6月27日(水)午前				
6月28日(木)午前/午後	第一中学校	7月4日(水)	第二中学校	117人
6月29日(金)午前/午後				
7月3日(火)午前/午後	玉川中学校	7月5日(木)	玉川中学校	135人
7月4日(水)午前/午後				
7月5日(木)午前/午後	第三中学校	7月10日(火)	浦戸中学校(※)	7人
7月10日(火)午後	浦戸中学校	7月11日(水)	第三中学校	75人

※浦戸中学校の講演会は、保健センターで実施

2. 体験内容

- ①赤ちゃんふれあいコーナー：生後4か月～1歳程度の乳児とママとのふれあい体験
- ②育児コーナー：沐浴人形を使った、沐浴体験
- ③妊婦とパパの出番コーナー：妊娠8か月程度の妊婦・育児中のパパからの話を聞くほか、助産師から子どもが生まれるまでの説明

3. 講演会

産婦人科医師による講話「将来を担う君たちへのメッセージ」

4. 地域ボランティア

1回につき約20名(赤ちゃん和妈妈：5組 妊婦さん：1名
育児中のパパ：1名、ボランティア12～13人)



平成30年度中学生と赤ちゃんふれあい交流事業 ＜タイムスケジュール＞

※ 授業時間の関係上、学校毎に時間は多少前後します

	時間		流れ	内容
体験実習	午前の部	午後の部		
	10:50	13:30	学校出発	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ふれあい交</div> 
	11:05	13:45	保健センター到着	
	11:15	13:55	オリエンテーション	
	11:10	14:00	ふれあい交流開始	
	12:15	15:05	ふれあい交流終了	
	12:30	15:10	保健センター出発	
	12:45	15:25	学校到着	
講演会	13:30～15:30 (5・6時間目)		オリエンテーション 講演 終わりの挨拶	

おいしく“^{へんしーん}変身”親子でタラクッキング in 塩竈市魚市場

若年層を中心に魚食離れが進むなか、本市の基幹産業である水産業を学び、地元で生産・加工される魚にふれる機会を創出し、魚食普及を図るものです。

これまでは、小学生を対象としてきましたが、今回は、魚についての知識を深め、食卓に魚料理を取り入れていただけるよう、保護者の方にも参加していただき、開催します。

期 日 : 平成30年6月30日(土) 10:00～

場 所 : 塩竈市魚市場中央棟 大会議室及び魚食普及スタジオ
塩竈市新浜町一丁目13-1

対象者 : 小学校3～6年生及び保護者【親子12組程度】

内 容 : ・タラについての学習 ・さばき方、料理作り ・試食



↑平成29年11月12日開催
「ひがしもの教室の様子」



↑平成30年3月3日開催
「わかめ教室の様子」

主 催 : 宮城学院女子大学、塩釜市水産振興協議会 **共 催** : 塩竈市

問い合わせ先 : 〒985-0001 宮城県塩竈市新浜町一丁目13-1 (水産振興課内)
塩釜市水産振興協議会 宛
電話 : 022-781-7706 FAX : 022-364-2223
(平日 8:30～17:15)

【小舟で巡る・貞山運河「御舟入堀」復興状況視察会】開催について

＜趣旨・目的＞

地域の史跡である「御舟入堀」と接続する砂押川を小舟で巡り、伊達藩御用米の舟運時代を思い、震災から立直り再生しつつある堀水域の今後の利活用を検討し、未来の創造的な地域振興を図るための視察です。

史跡としての水域の秩序と維持管理・安全性確保・景観向上に向けた視線で現状を視察し、取り組むべき課題と、史跡としての運河と静穏な水域としての利活用の方法を考えるものです。

＜内容・行程＞

開催日	平成30年6月2日（土）
集合場所	塩竈市北浜4-71-10 北浜マリナーズ（JR東塩釜駅国道向）
集合時間	受付 9時00分～ 北浜マリナーズ内、海側デッキルーム
開会	午前9時20分 ご挨拶・ご案内説明資料配布等
乗船出港	午前9時50分乗船・10時出港（4～8ノット程度で航行）
使用船舶	大型和船（雨天対応2隻）・小型和船複数隻、他カヌー走行デモ予定
行程	マリナーズ・千賀の浦・御舟入堀・砂押川念仏橋までの往復
帰港下船	12時頃想定
昼食懇談	12時過ぎから 簡単な昼食準備します。

（御舟入堀アサリ汁・多賀城古代米握り・宮城寒流海苔等）

解散 13時

＜主催＞ 一般社団法人日本マリン事業協会 東北支部 南地区分会

宮城県塩竈市北浜4-71-10 北浜マリナーズ

TEL 022-365-3220 Fax 022-365-3244 メール msu@kuroshiomarine.co.jp

＜担当＞ 鈴木 雅博 携帯電話 090-7565-3711

素敵なマグロ達がお出迎え！

マリゲート塩釜の工事現場壁面にまぐろの塗り絵がラッピングされました



現在、西ふ頭観光栈橋の復旧工事が進められている、マリゲート塩釜前の工事ヤードの囲いの壁に大きいカラフルなまぐろのイラストが展示されています。

これは、今年2月24～25日にマリゲートで開催されたイベント「塩釜の醍醐味」で「まぐろ☆ファッションショー」と題した塗り絵を募集したところ、個性が光る190点の色とりどりの作品が出展され、その中の作品を展示したものです。

工事現場を明るく華やかな“ランウェイ”にしようと、工事を行っている、宮城県仙台塩釜港湾事務所とあおみ建設㈱のご協力により実現しました。



「塩釜の醍醐味」チラシと裏面のまぐろ塗り絵

「まぐろ☆ファッションショー」

- 展示期間
 - ・ 全作品展示：～2018年6月末まで
 - ・ 工事ヤード展示：～2019年3月末まで
- 展示場所
 - ・ 全作品展示：マリゲート塩釜 1F ショッピングゾーン
 - ・ 工事ヤード展示：マリゲート塩釜 西側駐車場

お問合せ：マリゲート塩釜 Tel.022-361-1500
塩釜市商工港湾課 Tel.022-364-1124

玉川中学校区において授業研究会を開催します

～しおがま「学びの共同体」による授業づくりがスタート～

本市が推進する小中一貫教育事業では、今年度から、市内全小中学校で、しおがま「学びの共同体」による授業づくりに取り組みます。

この「学びの共同体」による授業づくりを市町村単位で実践している自治体は、県内では富谷市と本市となっておりますが、小中一貫教育のシステムを土台にして取り組んでいるのは本市のみで、全国でも数少ない事例となっております。

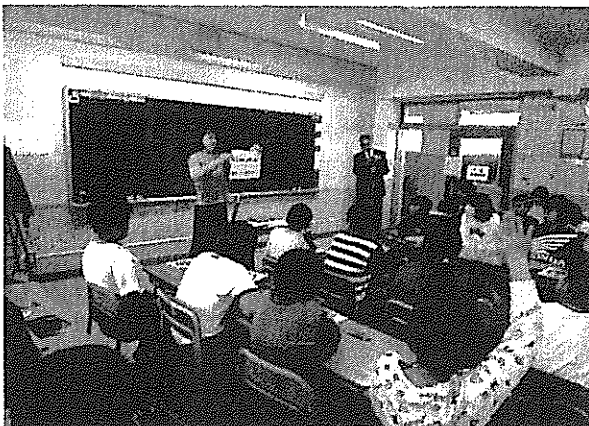
この度、玉川中学校区におきまして、授業研究会を次のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

◇ 玉川中学校区授業研究会 ◇

1. 開催日 平成30年6月12日（火） *時間は変更あり
13:50 研究授業（中学校理科） 授業者 狩野 明子 教諭
14:50 ワークショップ
15:45 全体会
指導助言者 茨城県牛久市教育委員会 指導主事 塚本 桂子 様
2. 場 所 玉川中学校体育館
3. 参加者 玉川中学校・玉川小学校・月見ヶ丘小学校の教職員

しおがま「学びの共同体」による授業づくりとは、平成32年4月から小学校、平成33年4月から中学校で全面実施する新学習指導要領の中核となる「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に先行的に取り組むもので、どの子にも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりを目指します。具体的には、一人の教員が全体に講義形式で行う「一斉授業」から、児童生徒の「学びに向かう力」を活用し、児童生徒の対話に基づく「協同的な学びの授業」に転換を図ります。

今回、「学びの共同体」による授業づくりを小中一貫教育事業の中核に据えることで、教育の質の向上への取り組みを更に加速させてまいります。



今年度、玉川中学校区での授業研究会を皮切りに、年間を通じて市内5つの中学校区で実施します。

<授業研究会の年間計画(予定)>

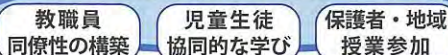
日 程	対象学区
6月12日（火）	玉川中学校区
6月、11月、12月、 1月、2月	第三中学校区
7月	第一中学校区
11月	第二中学校区

* 第三中学校区（第三小学校と第三中学校）は、パイロットスクール（モデル校）に指定しています

塩竈市学力向上プラン

しおがま「学びの共同体」による授業づくり

しおがま「学びの共同体」



「塩竈市学力向上プラン」では、授業の中に、子どもたちが「活躍する場」や「交流する場」を意図的に設定し、どの子どもも「できる・分かる」喜びを味わえる授業を目指します。

そして、本プランでは、新学習指導要領によりスタートする「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の視点から、現在行われている授業を、旧来型の「一斉授業」から21世紀型の学習形態と呼ばれる「協同的学びの授業」への転換を図る授業改革に取り組みます。

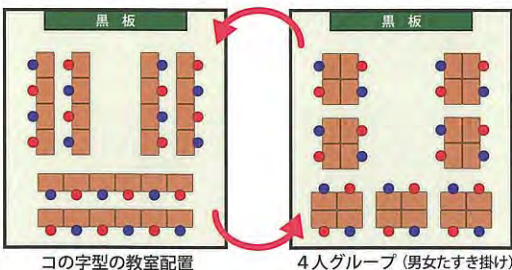
「学び」が生まれる授業をデザイン

①教師からの一方向の説明や講義ではなく、児童生徒の発言を「聴く」、「つなぐ」、「もどす」を基本とした「協同的学びの授業」を展開していきます。

②誰もが理解すべき「共有の課題」と、その理解を基礎として挑戦する「ジャンプの課題」の2つの課題で授業をデザインしていきます。

協同的な学びのスタイル

協同的学びでは、「全体の協同的学び(コの字型)」と「男女混合4人グループの協同的学び」を適宜組み合わせる授業を進めます。(小学校低学年ではペアでの協同的学び)



ユニバーサルデザインによる授業づくり

どの子どもも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりには「ユニバーサルデザイン」の視点での授業改善が必要です。

子どもたちが、学習活動の見通しをもてるように、授業の「めあて」を明示したり、授業全体の流れを掲示したりするなど、授業をシンプルで分かりやすいものにすることが大切です。

また、指示を短く明確にしたり、視覚的な提示を工夫したりするなど、どの子どもも授業に安心して参加できる配慮が必要です。

構造化	Structuring	授業全体の見通しを提示
共有化	Sharing	ペア・グループで確認
焦点化	Focusing	授業をシンプルに
視覚化	Visualization	見える化 ICT 機器活用

塩竈市幼保小連携事業

市内の小学校と、市内の小学校に進学してくる幼稚園や保育所(園)との接続(幼保小連携)も積極的に進めます。

特別支援教育の視点での幼保小連携

近年、小学校に入学した児童が授業中に立ち歩く、話を聞けない、床に寝そべる等、学校生活に適応できず、学級がうまく機能しない状況に陥る、「小1プロブレム」が指摘されています。

そこで、特別支援教育の視点での幼保小連携に重点的に取り組みます。

アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの活用

市内等の幼稚園・保育所(園)と、市内の小学校が円滑に接続できるように、幼稚園・保育所等で使用する「アプローチカリキュラム」と、小学校で使用する「スタートカリキュラム」を作成し、「生活の接続」と「学びの接続」を滑らかに行えるようにします。

特別支援教育スーパーバイザー

塩竈市学びの支援センター「コラソン」に、「特別支援教育スーパーバイザー」を配置し、各小中学校の教職員や保護者からの相談や、各校の特別支援教育支援員、幼稚園・保育所(園)へ指導・助言を行います。



中学校区単位の交流活動

すべての教育活動の中に、児童生徒の「活躍の場」と「交流の場」を設け、中学校区単位で、様々な特色ある交流活動を実施します。

また、地域の活性化や教育力強化等、学校の「新たな役割」の創出に向け、学校、家庭、地域が一体となった取組を積極的に進めます。



平成30年4月
印刷・発行 塩竈市教育委員会
編集 学校教育課
〒985-0052 宮城県塩竈市本町1-1
電話 022-365-3216 FAX 022-365-3347

塩竈市独自の小中一貫教育

～未来へ羽ばたく塩竈っ子のために～



～未来へ羽ばたく塩竈っ子のために～

塩竈市独自の小中一貫教育

目標 すべての子どもたちに
「社会をたくましく生き抜く力」を育成する

「変化の激しい社会の中で、主体的に学び続け、多様な見方・考え方を働かせながら、たくましく自らの豊かな人生を実現するとともに、他者と協働しながら、よりよい社会を創り出していく力」を育成します。

取組方針

「一人一人の発達・成長を支え、一人も見捨てることなく、良さや可能性を伸ばす教育」を行う

キーワード ～「活躍」と「交流」～

有能感(できる・分かる)、生命感(受容・承認)、達成感(達成・満足)を味わう一連の成功体験・感動体験を積み重ねて自尊感情を高め、目標を実現します。

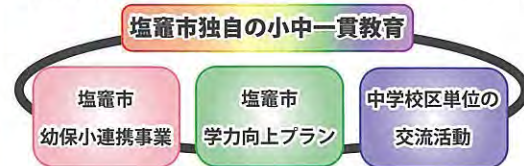
小中一貫教育の必要性

①9年間の「学びの連続性」を確保し、教育内容や学習活動の質的向上を図ります。

②「中1ギャップ」や「10歳の壁」等の発達上の段差に適切に対応します。

③「中学校区単位」で多様化・複雑化する学校現場の課題に取り組みます。

具体的取組 目標の実現に向け、下記の3つの事業に取り組みます。



実施体制と施設形態

組織上独立した小学校及び中学校が、現行制度の枠の中で一貫した教育課程を編成・実施する「小中一貫型小・中学校」の体制及び、「施設分離型」の施設形態で、系統的・連続的で、一貫性のある教育を推進していきます。



※浦戸小中学校は、平成27年度から施設一体型の小中一貫校になりました。

※二小からは、一中と二中に進学しますが、当面、一中との一貫教育を進めます。

ユニバーサルデザイン による授業づくり

授業をシンプルで分かりやすいものにする
とともに、どの子も授業に安心して参加で
きる配慮をします。



教室の掲示物は必要最小限とする

塩竈市教育大綱の目指すべき姿

「未来に羽ばたく塩竈っ子」の育成

学力向上プラン

「授業づくり」、「学ぶ意欲と姿勢づくり」、「家庭における学習環境づくり」
の3本の柱をベースに、学校、保護者、地域が一体となった取組を行います。
特に、「活躍する場」や「交流する場」を設定し、すべての児童生徒が、
「できる・分かる」喜びを味わえる授業を目指します。



到達目標

「社会を
たくましく
生き抜く力」
の育成

保護者
学習参加

しおがま
「学びの共同体」
による授業づくり

児童・生徒
協同的な学び

中学校

児童生徒間交流

塩竈市独自の小中一貫教育 9年間の「学びの連続性」

中学校区単位の
交流活動

すべての教育活動の中に、児童生徒の「活躍の場」と「交流
の場」を設け、中学校区単位で、様々な交流活動を実施します。



小学生による中学校部活動体験

小学校のサマースクールに中学生が
ミニティーチャーで参加

教職員間交流

小中学校の教員が、学校の枠組みを超えて協力し合い、ティ
ーム・ティーチングで授業を行います。



中学校教員が小学校で英語の授業

小学校教員が中学校で数学の授業



小中学生の合同あいさつ運動

小中学生合同の集団下校訓練

教職員
同僚性

小学校

幼保小連携事業

アプローチカリキュラムと
スタートカリキュラムの活用

幼稚園・保育所(園)と、小学校が円滑に接続できるように、幼稚園・
保育所等での「アプローチカリキュラム」と、小学校での「スタート
カリキュラム」を作成し、「生活の接続」と「学びの接続」をします。

幼稚園
保育所



専門性を生かした体育指導

中学校教員のファンディ研修

地域との交流 地域

学校、家庭、地域が一体となり、「オール塩竈」で子どもを育
てる体制を構築し、地域人材等を活用した交流を取り入れます。



保育体験前の保育士との交流 ゲストティーチャーの俳句の授業



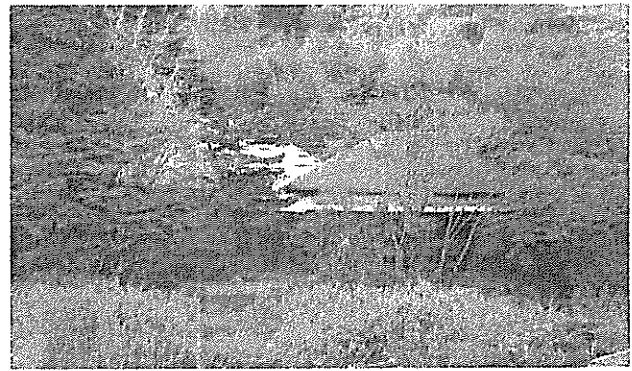
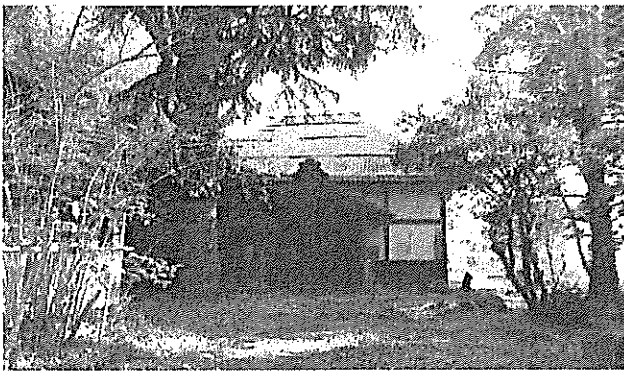
全体の協同的学び (コの字型)



男女混合4人グループの協同的学び

勝画楼が日本遺産の構成文化財に追加されました

宮城県が関係市町（仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町）を代表して申請した勝画楼について、平成 30 年 4 月 17 日及び 4 月 24 日に開催された文化庁「日本遺産審査委員会」の審議を経て、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化財に追加されました。



《日本遺産とは》

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するもの。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。全国で「政宗が育んだ“伊達”文化」をはじめ、平成 29 年度までに 54 件のストーリーが認定されており、平成 30 年度は新たに 13 件が認定されました。

《勝画楼の概要（ストーリーのなかでの位置付け）》

勝画楼は、江戸時代中期までに千賀の浦を望む景勝地に建立され、仙台藩第 5 代藩主・伊達吉村公が塩竈を訪れた際に使用し、自らが揮毫した扁額を掲げた書院建築です。また、広間棟の前身建物は、鹽竈神社別当法蓮寺客殿として仙台藩によって造営されました。

勝画楼は、懸造風の眺望を重視した書院建築であり、歴代藩主が鹽竈神社参拝時に御休息所としても使用した市内に残る“伊達”な文化の壮麗さを顕著に示すものの一つです。

《塩竈市における構成文化財》

塩 竈 市 鹽竈神社、鹽竈神社歴代藩主奉納太刀、籬が島、松島、鹽竈神社帆手祭・花祭、
勝画楼（追加）

問い合わせ先

塩竈市教育部教育委員会生涯学習課学習支援係

担当：鈴木・白谷 電話：362-2556

今年度も「わくわく遊び隊」が始動します

1. 概要

放課後における子どもたちの安心・安全な居場所をつくとともに、基本的な運動要素（走る・投げる・跳ぶ）を取り入れたレクリエーションをとおり子どもたちの体力・運動能力の基盤形成を図るため開催するもので、平成 28 年 6 月に玉川小学校で発足しました。

平成 29 年度は浦戸地区をのぞく市内各小学校で開催し、継続を望むご意見が多く寄せられたことから、平成 30 年度も開催します。

2. 開催校等

開催校	開催期間（予定回数）	開催曜日	定員	開講式
第一小学校	H30.6月～H31.2月（24回）	金曜日	40名	6月8日15:00～
第二小学校	H30.6月～H31.2月（22回）	月曜日	40名	6月4日14:45～
第三小学校	H30.6月～H31.2月（24回）	木曜日	40名	6月14日15:00～
月見ヶ丘小学校	H30.6月～H31.2月（23回）	金曜日	40名	6月8日15:10～
杉の入小学校	H30.6月～H31.2月（24回）	水曜日	50名	6月13日14:45～
玉川小学校	H30.6月～H31.2月（26回）	金曜日	80名	6月8日14:45～

《各校共通》

対 象：小学校1年生から3年生

開催時間：放課後（授業終了から下校時間までの1時間程度）

参加費：年間8,000円（保険代1,000円含む）

その他：夏休み・冬休みには、水泳教室やサッカー教室、伝承遊び等を開催予定

3. わくわく体操について

ケガの防止や参加児童の一体感を高めるため、アスリートも実践しているダイナミックストレッチ（動きながら行うストレッチ）を取り入れた「わくわく体操」を作りました。準備運動の一環として、参加児童全員で体操します。



問い合わせ先

塩竈市教育部教育委員会生涯学習課学習支援係 担当：中川 電話：362-2556

塩竈市水道週間啓発コンクール応募作品展示会

水道週間の取り組みとして、市内の小学生から応募いただいた作品の展示会を開催いたします。

本年も、ふれあいエスプ塩竈のアートギャラリーにて、応募いただいた作文やポスターなど計122点すべての作品を展示いたします。

また、市の審査会において上位入選した作品については、日本水道新聞社主催の全国コンクールに応募いたします。

★ 水道週間啓発コンクール（作品展示会）

と き：平成30年6月2日（土）～10日（日）

ところ：ふれあいエスプ塩竈 アートギャラリー

展示数：122点

（作文4点、標語15点、ポスター15点、習字88点）



【平成30年度入選作品】

ポ
ス
タ
ー



低学年の部第1位 三小3年 菅野 心美
(かんの ここみ)



高学年の部第1位 三小6年 山崎 結音
(やまざき ゆのん)

習
字



低学年の部第1位 玉小3年 鈴木 明花
(すずき めいか)



高学年の部第1位 玉小6年 齋藤 麻由香
(さいとう まゆか)